



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月5日

上場会社名 株式会社ワコム 上場取引所 東
 コード番号 6727 URL <https://www.wacom.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 井出 信孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 CFO (氏名) 町田 洋一 TEL 03-5337-6502
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家・金融機関向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	46,263	13.7	2,734	82.1	2,912	77.4	1,975	18.0
2018年3月期第2四半期	40,689	20.4	1,501	—	1,642	—	1,674	—

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,221百万円 (6.4%) 2018年3月期第2四半期 2,088百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	12.16	12.16
2018年3月期第2四半期	10.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	61,863	23,933	38.7	147.25
2018年3月期	50,910	22,668	44.5	139.45

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 23,917百万円 2018年3月期 22,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	8.2	4,000	13.4	3,920	9.4	2,980	26.2	18.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	166,546,400株	2018年3月期	166,546,400株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	4,121,300株	2018年3月期	4,175,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	162,398,543株	2018年3月期2Q	162,371,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日まで）における当社グループを取り巻く事業環境において、IT市場では、IoT（モノのインターネット）による情報ネットワークの拡大やデータソースの多様化に加え、モバイル、クラウド、ビッグデータ、ソーシャルメディアに関連した技術革新や利便性向上などが見られました。なお、同期間の主要通貨に対する円相場は、各国の景気や金融・貿易政策等に対する見方を反映し、前年同期の平均レートと比較すると対ドルで円高、対ユーロや対中国元で円安となりました（為替変動による業績への影響は、連結売上高を約3億円押し下げ、連結営業利益を約1億円押し上げた試算）。

このような事業環境の下、当社グループは、当期（2019年3月期）を初年度とする中期経営計画「Wacom Chapter 2」を策定し、「テクノロジー・カンパニー」としてペンやインクのデジタル技術で常に市場の主導権を握りつつ、持続的な成長を目指してまいりました。当第2四半期連結累計期間では、IoT、VR（仮想現実）/MR（複合現実）、3D（三次元）プリンティング、AI（人工知能）、セキュリティ（安全性）といった成長分野において事業モデルを一段と進化させるための将来戦略を新たな経営チームの下で推し進めるとともに、経営判断の質の向上を通して生産性やコスト構造の改善など経営課題にも全社的に取り組みました。

ブランド製品事業については、創造性発揮のための最高体験をお客様にお届けするため、技術革新へ取り組むとともに顧客サービスの向上に努めました。当第2四半期連結累計期間では、クリエイティブビジネスにおいて、競争環境の変化によりペンタブレット製品の中低価格帯モデルの市場浸透が進まなかったこと、モバイル製品で製品ライフサイクルの後期に入った既存製品の販売が減少したことなどから、ブランド製品事業全体としての売上高は、前年同期を小幅に下回る結果となりました。

テクノロジーソリューション事業については、OSプラットフォームの壁を越えてデジタルペン技術（EMR：Electro Magnetic Resonance方式、アクティブES：Active Electrostatic方式）の業界標準化に取り組むとともに、タブレット・ノートPC市場での利用拡大や教育市場での事業機会の拡大に努めました。当第2四半期連結累計期間では、スマートフォン向けならびにタブレット・ノートPC向けにメーカー各社からの需要が早期化したことなどから、テクノロジーソリューション事業全体としての売上高は、前年同期を大幅に上回る結果となりました。

中期経営計画の経営課題に対する全社的な取り組みとしては、利益重視の経営を目指し、組織やオペレーションの改革とコスト構造の改善などに努めました。第1四半期連結累計期間には、オペレーションの効率性改善や利益性向上の観点から、稼働中のグローバル基幹業務システム（ソフトウエア資産）に対しても見直しを行い一部除却を決定し、固定資産除却損（142,091千円）を計上しました。また、当第2四半期連結累計期間では、商戦期前での費用の投下時期や必要性の見極めを行い、グローバル基幹業務システムに関連した経費の削減など、販管費の最適化に引き続き取り組んだことで、売上高販管費率は28.1%と前年同期と比較して6.8ポイント低下しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高が46,263,034千円（前年同期比13.7%増）となり、営業利益は2,733,511千円（同82.1%増）、経常利益は2,911,896千円（同77.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,975,121千円（同18.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ブランド製品事業

<クリエイティブビジネス>

クリエイティブビジネスは、主な製品ラインの売上高が前年同期を下回ったことから減収となりました。

○ ペンタブレット製品

「Wacom Intuos Pro (ワコム インテュオス プロ)」は、僅かながら売上を伸ばしました。一方で、「Wacom Intuos (ワコム インテュオス)」は、競争環境の変化により、3月に発表した新製品の市場浸透が進まなかったことなどが影響し、売上が減少しました。また、昨年多くの新規ユーザーを獲得した新興地域向けの低価格エントリーモデル「One by Wacom (ワン パイ ワコム)」も、売上が低調に推移しました。これらの結果、ペンタブレット製品全体の売上高は、前年同期を下回りました。

○ ディスプレイ製品

液晶ペンタブレット「Wacom Cintiq Pro (ワコム シンティック プロ)」の製品ラインアップの強化を図りました。一方で、それらの新製品の供給が市場の需要を十分に満たすことができなかったことなどから、ディスプレイ製品全体の売上高は、前年同期を僅かながら下回りました。

○ モバイル製品

デジタルペン搭載タブレット市場が拡大し競争環境が大きく変化するなか、主力製品である「Wacom MobileStudio Pro (ワコム モバイルスタジオ プロ)」は、製品ライフサイクルの後期に入ったことで売上が大幅に減少しました。この結果、モバイル製品全体の売上高は、前年同期を大幅に下回りました。

<コンシューマビジネス>

マイクロソフト社との共同開発によるWindows対応タブレットに最適なスタイラスペン「Bamboo Ink (バンブー インク)」は、昨年6月の発表から1年を超え販売が減速したことから、前年同期との比較では不調な結果となりました。この結果、コンシューマビジネス全体の売上高は、前年同期を下回りました。

<ビジネスソリューション>

液晶サインタブレット製品「STU (エスティユー)」シリーズは金融機関向けを中心に、液晶ペンタブレット製品「DT (ディーティー)」シリーズは教育機関向けを中心に、それぞれ北米で好調に売上を伸ばしました。これらの結果、ビジネスソリューション全体の売上高は、前年同期を上回りました。

これらの結果、ブランド製品事業の売上高は20,660,608千円（前年同期比7.9%減）、セグメント利益は1,880,189千円（同26.3%減）となりました。

② テクノロジーソリューション事業

<スマートフォン向けペン・センサーシステム>

主要顧客であるサムスン社の最新モデル向けの需要が早期化したことや、既存モデル向けの販売が継続したことから、スマートフォン向けペン・センサーシステム全体の売上高は、前年同期を大幅に上回りました。

<タブレット・ノートPC向けペン・センサーシステム>

アクティブES方式デジタルペン製品の需要が早期化したことや、メーカー各社から高い評価を得て需要が拡大したことから、タブレット・ノートPC向けペン・センサーシステム全体の売上高は、前年同期を上回りました。

これらの結果、テクノロジーソリューション事業の売上高は25,602,426千円（前年同期比43.0%増）、セグメント利益は4,958,251千円（同40.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、61,862,761千円となり、前連結会計年度末と比べ10,953,248千円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が3,516,420千円、商品及び製品が3,172,594千円及びその他流動資産が3,503,684千円増加したことによります。

負債の残高は、37,929,787千円となり、前連結会計年度末に比べ9,688,755千円増加しました。これは主に、買掛金が9,344,853千円及び未払法人税等が1,357,683千円増加したことによります。

純資産の残高は、23,932,974千円となり、前連結会計年度末に比べ1,264,493千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益で1,975,121千円及び為替換算調整勘定が244,547千円増加し、剰余金の配当で974,227千円減少したことによります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ5.8ポイント減少し、38.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ、465,964千円減少（前年同期は1,883,895千円増加）し、当第2四半期連結会計期間末では、18,691,163千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内訳は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2,274,914千円（前年同期は244,317千円の使用）となりました。主な増加は、税金等調整前四半期純利益2,773,753千円及び仕入債務の増加額9,219,503千円であり、主な減少は、売上債権の増加額6,820,357千円及びたな卸資産の増加額2,831,933千円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2,056,752千円（前年同期は603,342千円の使用）となりました。主な内訳は、固定資産の取得による支出2,050,362千円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、950,435千円（前年同期は2,029,866千円の収入）となりました。内訳は、自己株式の処分による収入21,840千円及び配当金の支払額972,275千円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想については、2018年5月11日に公表した予想値を修正しております。詳細については、2018年10月12日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、事業セグメント別の予想値は、本添付資料P. 12「3. 補足情報」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,157,127	18,691,163
受取手形及び売掛金	10,738,243	14,254,663
商品及び製品	7,621,300	10,793,894
仕掛品	162,693	168,220
原材料及び貯蔵品	1,935,894	1,801,870
その他	2,612,008	6,115,692
貸倒引当金	△32,147	△23,362
流動資産合計	42,195,118	51,802,140
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	4,301,363	4,314,711
有形固定資産合計	4,301,363	4,314,711
無形固定資産		
その他	2,951,431	3,467,887
無形固定資産合計	2,951,431	3,467,887
投資その他の資産		
その他	1,520,716	2,336,344
貸倒引当金	△59,115	△58,321
投資その他の資産合計	1,461,601	2,278,023
固定資産合計	8,714,395	10,060,621
資産合計	50,909,513	61,862,761
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,100,670	16,445,523
短期借入金	3,000,000	3,000,000
未払法人税等	322,577	1,680,260
賞与引当金	1,037,202	728,822
役員賞与引当金	48,908	16,802
その他	5,242,731	4,700,439
流動負債合計	16,752,088	26,571,846
固定負債		
長期借入金	10,000,000	10,000,000
退職給付に係る負債	809,066	822,610
資産除去債務	234,735	239,161
その他	445,143	296,170
固定負債合計	11,488,944	11,357,941
負債合計	28,241,032	37,929,787

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,203,469	4,203,469
資本剰余金	6,098,918	6,100,962
利益剰余金	14,522,032	15,522,926
自己株式	△1,900,416	△1,875,838
株主資本合計	22,924,003	23,951,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86	1,278
為替換算調整勘定	△284,565	△40,018
退職給付に係る調整累計額	3,749	3,837
その他の包括利益累計額合計	△280,730	△34,903
新株予約権	25,208	16,358
純資産合計	22,668,481	23,932,974
負債純資産合計	50,909,513	61,862,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	40,689,124	46,263,034
売上原価	24,985,951	30,535,898
売上総利益	15,703,173	15,727,136
販売費及び一般管理費	14,202,029	12,993,625
営業利益	1,501,144	2,733,511
営業外収益		
受取利息	38,093	24,885
為替差益	90,046	151,710
その他	32,445	23,609
営業外収益合計	160,584	200,204
営業外費用		
支払利息	19,631	20,431
その他	294	1,388
営業外費用合計	19,925	21,819
経常利益	1,641,803	2,911,896
特別利益		
固定資産売却益	612	3,547
投資有価証券売却益	—	898
新株予約権戻入益	98,405	1,884
特別利益合計	99,017	6,329
特別損失		
固定資産売却損	200	340
固定資産除却損	43,290	144,132
特別損失合計	43,490	144,472
税金等調整前四半期純利益	1,697,330	2,773,753
法人税等	23,483	798,632
四半期純利益	1,673,847	1,975,121
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,673,847	1,975,121

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,673,847	1,975,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	212	1,192
為替換算調整勘定	409,690	244,547
退職給付に係る調整額	4,260	88
その他の包括利益合計	414,162	245,827
四半期包括利益	2,088,009	2,220,948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,088,009	2,220,948
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,697,330	2,773,753
減価償却費	1,277,088	1,178,092
株式報酬費用	2,661	△2,268
固定資産除却損	43,290	144,132
新株予約権戻入益	△98,405	△1,884
引当金の増減額 (△は減少)	△18,564	△361,426
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,035	13,706
受取利息及び受取配当金	△38,093	△24,885
支払利息	19,631	20,431
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,430,919	△6,820,357
たな卸資産の増減額 (△は増加)	404,077	△2,831,933
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,794,926	9,219,503
その他	△543,206	△460,501
小計	120,851	2,846,363
利息及び配当金の受取額	38,603	24,570
利息の支払額	△18,889	△19,212
法人税等の支払額	△384,882	△576,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	△244,317	2,274,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△615,709	△2,050,362
固定資産の売却による収入	2,295	7,166
その他	10,072	△13,556
投資活動によるキャッシュ・フロー	△603,342	△2,056,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,000,000	—
自己株式の処分による収入	—	21,840
配当金の支払額	△970,134	△972,275
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,029,866	△950,435
現金及び現金同等物に係る換算差額	701,688	266,309
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,883,895	△465,964
現金及び現金同等物の期首残高	14,204,928	19,157,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,088,823	18,691,163

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

ストック・オプションの行使による自己株式の処分に伴い、当第2四半期連結累計期間において自己株式が24,578千円(54,000株)減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は1,875,838千円(4,121,300株)となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ブランド製品 事業	テクノロジー ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,442,065	17,902,327	40,344,392	344,732	40,689,124	—	40,689,124
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,442,065	17,902,327	40,344,392	344,732	40,689,124	—	40,689,124
セグメント利益又は 損失(△)	2,549,459	3,531,031	6,080,490	△38,626	6,041,864	△4,540,720	1,501,144

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリングソリューションであります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△4,540,720千円は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ブランド製品 事業	テクノロジー ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,660,608	25,602,426	46,263,034	—	46,263,034	—	46,263,034
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	20,660,608	25,602,426	46,263,034	—	46,263,034	—	46,263,034
セグメント利益	1,880,189	4,958,251	6,838,440	—	6,838,440	△4,104,929	2,733,511

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリングソリューションであります。なお、エンジニアリングソリューション事業については、2017年12月1日付で会社分割により新設会社に承継させるとともに、当該新設会社の全株式を譲渡しております。

2. セグメント利益の調整額△4,104,929千円は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

2019年3月期 第2四半期決算概要(連結累計期間)

(1) 決算業績

	18年3月期	19年3月期	対前年同期増減		18年3月期	19年3月期		対前年同期増減	
	H1実績	H1実績	金額	率	通期実績	通期予想	(前回予想)	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	(百万円)	百万円	
売上高	40,689	46,263	5,574	13.7%	82,263	89,000	(85,000)	6,737	8.2%
営業利益 (営業利益率)	1,501	2,734	1,233	82.1%	3,527	4,000	(4,000)	473	13.4%
経常利益 (経常利益率)	1,642	2,912	1,270	77.4%	3,585	3,920	(3,920)	335	9.4%
当期純利益 (当期純利益率)	1,674	1,975	301	18.0%	2,362	2,980	(2,980)	618	26.2%
P/L換算為替レート(期中平均)	円	円	円		円	円	円	円	
(USドル)	111.42	110.07	-1.35	-1.2%	110.81	111.00	(105.00)	0.19	0.2%
(ユーロ)	126.63	129.88	3.25	2.6%	129.45	130.00	(130.00)	0.55	0.4%

注) 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」に相当します。

注) 2019年3月期通期予想()内の前回予想数字は、2018年5月11日付の数値です。

(2) 事業セグメント別業績

	18年3月期	19年3月期	対前年同期増減		18年3月期	19年3月期		対前年同期増減	
	H1実績	H1実績	金額	率	通期実績	通期予想	(前回予想)	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	(百万円)	百万円	
ブランド製品事業									
売上高	22,442	20,661	-1,781	-7.9%	48,173	49,000	(50,300)	827	1.7%
セグメント利益 (利益率)	2,549	1,880	-669	-26.3%	6,470	6,500	(9,700)	30	0.5%
テクノロジソリューション事業									
売上高	17,902	25,602	7,700	43.0%	33,648	40,000	(34,700)	6,352	18.9%
セグメント利益 (利益率)	3,531	4,958	1,427	40.4%	5,678	5,900	(2,590)	222	3.9%
その他の事業									
売上高	345	--	-345	-100.0%	442	--	--	-442	-100.0%
セグメント利益 (利益率)	-39	--	39	--	-65	--	--	65	--
	-11.2%	--			-14.8%	--	--		

注) 各事業別の利益は、管理部門などコーポレート費用の調整額の消去前です。

注) その他の事業(エンジニアリングソリューション事業)は、2017年12月1日付で譲渡し、実績は2018年3月期のみです。

(3) 製品ライン別売上

(現地法人別)	18年3月期	19年3月期	対前年同期増減		18年3月期	19年3月期		対前年同期増減	
	H1実績	H1実績	金額	率	通期実績	通期予想	(前回予想)	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	(百万円)	百万円	
ブランド製品事業	22,442	20,661	-1,781	-7.9%	48,173	49,000	(50,300)	827	1.7%
クリエイティブビジネス	18,821	16,982	-1,839	-9.8%	40,362	41,490	(43,240)	1,128	2.8%
ペンタブレット	10,394	9,288	-1,106	-10.6%	23,390	22,390	(25,050)	-1,000	-4.3%
(日本)	1,037	752	-285	-27.5%	2,040				
(米国)	2,765	2,425	-340	-12.3%	6,839				
(ドイツ)	2,672	2,151	-521	-19.5%	6,909				
(アジア・オセアニア)	3,920	3,960	40	1.0%	7,602				
ディスプレイ	6,412	6,318	-94	-1.5%	13,045	15,950	(14,370)	2,905	22.3%
(日本)	1,400	1,290	-110	-7.8%	2,715				
(米国)	2,223	2,295	72	3.3%	4,577				
(ドイツ)	1,119	1,249	130	11.6%	2,822				
(アジア・オセアニア)	1,670	1,484	-186	-11.1%	2,931				
モバイル	2,015	1,376	-639	-31.7%	3,927	3,150	(3,820)	-777	-19.8%
(日本)	516	327	-189	-36.7%	971				
(米国)	582	511	-71	-12.3%	1,120				
(ドイツ)	330	281	-49	-14.6%	733				
(アジア・オセアニア)	587	257	-330	-56.2%	1,103				
コンシューマビジネス	1,606	1,180	-426	-26.6%	3,310	2,460	(2,640)	-850	-25.7%
(日本)	103	59	-44	-42.4%	214				
(米国)	1,020	806	-214	-21.0%	2,113				
(ドイツ)	293	195	-98	-33.5%	664				
(アジア・オセアニア)	190	120	-70	-37.2%	319				
ビジネスソリューション	2,015	2,499	484	24.0%	4,501	5,050	(4,420)	549	12.2%
(日本)	523	453	-70	-13.5%	1,072				
(米国)	347	678	331	95.3%	950				
(ドイツ)	881	1,017	136	15.5%	1,880				
(アジア・オセアニア)	264	351	87	33.0%	599				
テクノロジソリューション事業	17,902	25,602	7,700	43.0%	33,648	40,000	(34,700)	6,352	18.9%
スマートフォン向け	6,529	11,758	5,229	80.1%	11,708	16,480	(14,650)	4,772	40.8%
タブレット向け他	11,373	13,844	2,471	21.7%	21,940	23,520	(20,050)	1,580	7.2%
その他の事業	345	--	-345	-100.0%	442	--	--	-442	-100.0%
エンジニアリングソリューション	345	--	-345	-100.0%	442	--	--	-442	-100.0%
(日本)	345	--	-345	-100.0%	442	--	--	-442	-100.0%
合計	40,689	46,263	5,574	13.7%	82,263	89,000	(85,000)	6,737	8.2%

(4) 現地法人別売上

	18年3月期		19年3月期		対前年同期増減		18年3月期		19年3月期		対前年同期増減	
	H1実績	H1実績	金額	率	金額	率	通期実績	通期予想 (前回予想)	金額	率	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円		百万円	百万円	(百万円)	百万円	百万円	
日 本	21,826	28,483	6,657	30.5%	41,103	46,780	(42,030)	5,677	13.8%			
(うち、テクノロジーソリューション事業除く日本)	3,924	2,881	-1,043	-26.6%	7,455	6,780	(7,330)	-675	-9.1%			
米 国	6,937	6,714	-223	-3.2%	15,599	16,040	(15,370)	441	2.8%			
ド イ ツ	5,295	4,894	-401	-7.6%	13,007	13,480	(14,440)	473	3.6%			
ア ジ ア ・ オ セ ア ニ ア	6,631	6,172	-459	-6.9%	12,554	12,700	(13,160)	146	1.2%			
合 計	40,689	46,263	5,574	13.7%	82,263	89,000	(85,000)	6,737	8.2%			

注) テクノロジーソリューション事業の売上はすべて日本に集計しています。

注) ドイツは欧州・中東・アフリカ地域を含む。アジア・オセアニアは中国、韓国、オーストラリア、シンガポール、台湾、インドの現地法人の合計です。

(5) 資本的支出、減価償却費、研究開発費

	18年3月期		19年3月期		対前年同期増減		18年3月期		19年3月期		対前年同期増減	
	H1実績	H1実績	金額	率	金額	率	通期実績	通期予想 (前回予想)	金額	率	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円		百万円	百万円	(百万円)	百万円	百万円	
資 本 的 支 出	575	1,827	1,252	217.5%	1,513	3,300	(2,300)	1,787	118.1%			
減 価 償 却 費	1,277	1,178	-99	-7.8%	2,421	2,600	(2,600)	179	7.4%			
研 究 開 発 費	2,061	1,826	-235	-11.4%	4,385	5,000	(5,000)	615	14.0%			

注) 資本的支出は、有形固定資産及び無形固定資産の新規取得金額の合計です。